

第2回北九州市未来産業創造会議

北九州市における第3次産業 の現状と振興の方向性

令和5年11月16日
北九州市産業経済局

産業構造①（第1～3次産業の構成比）

【市内総生産における産業別構成比 政令市比較（R1）】

政令市	第1次産業	第2次産業	第3次産業	
			製造業	
1位 福岡市	0.1%	8.5%	3.2%	91.5%
2位 札幌市	0.0%	11.0%	3.5%	89.0%
3位 大阪市	0.0%	11.0%	7.5%	89.0%
4位 名古屋市	0.0%	13.6%	9.0%	86.4%
5位 横浜市	0.0%	13.9%	8.6%	86.1%
6位 仙台市	0.1%	15.0%	7.2%	84.9%
7位 千葉市	0.1%	16.1%	8.7%	83.8%
8位 広島市	0.1%	19.0%	14.4%	80.8%
9位 岡山市	0.5%	19.5%	14.2%	80.0%
10位 新潟市	1.1%	19.6%	14.1%	79.3%
11位 神戸市	0.1%	25.5%	21.7%	74.4%
12位 京都市	0.1%	25.6%	20.7%	74.3%
13位 川崎市	0.0%	26.3%	21.2%	73.7%
14位 北九州市	0.1%	27.0%	21.2%	72.8%
15位 浜松市	0.9%	29.8%	24.5%	69.3%
16位 堺市	0.0%	36.1%	30.2%	63.9%
政令市平均	0.1%	17.0%	11.9%	82.9%
全国平均	1.0%	25.9%	20.3%	73.1%

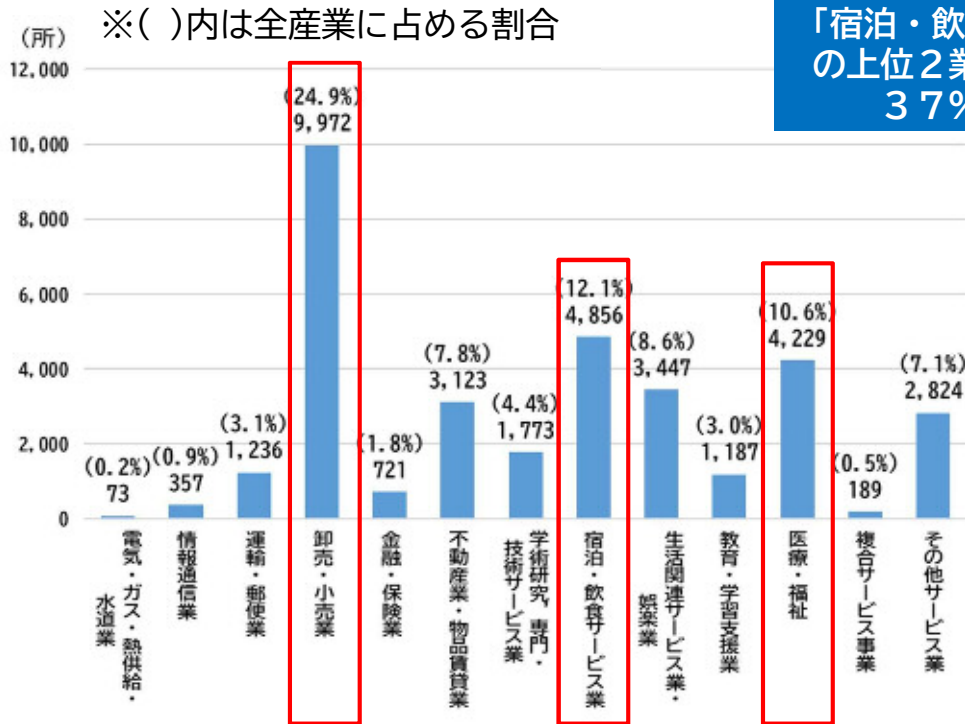
○政令市平均（82.9%）
よりも第3次産業の
割合が低い（72.8%）
が、7割を超えている
○全国平均（73.1%）と
同程度

【参考】

- 第1次産業
農林水産業
- 第2次産業
製造業、建設業、鉱業
- 第3次産業
第1～2次以外の産業
(卸売・小売業、情報通信業、
サービス業全般等)

北九州市の第3次産業の状況①（事業所数）

【北九州市の第3次産業の事業所数（R3）】



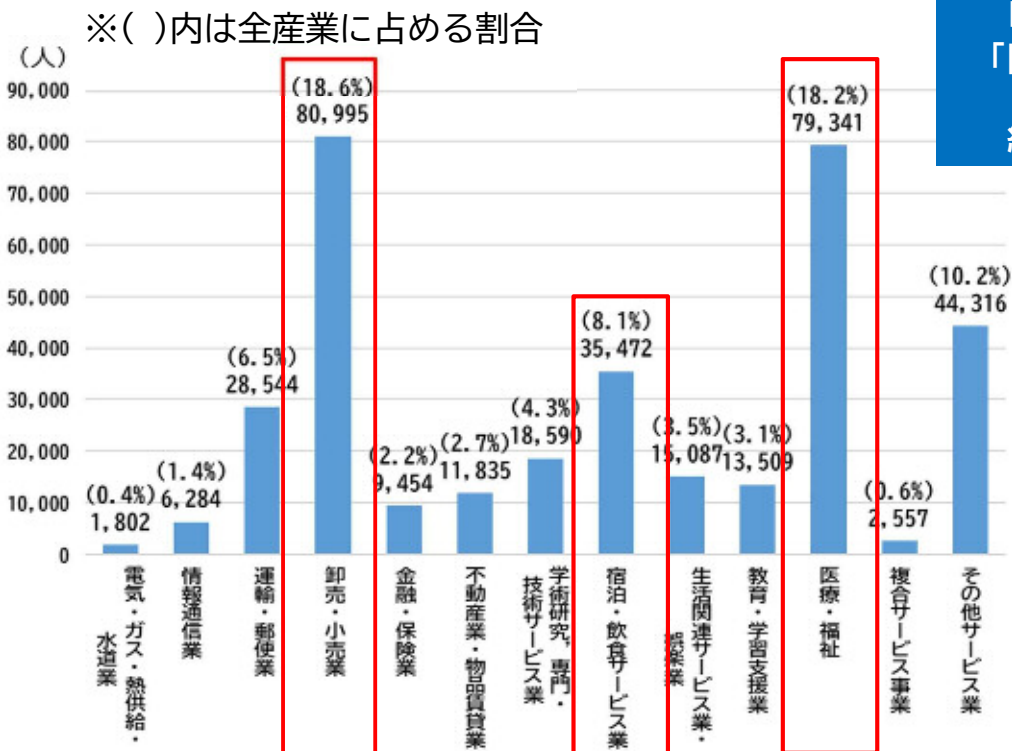
「卸売・小売業」、
「宿泊・飲食サービス業」
の上位2業種で全産業の
37%を占める

【参考：その他サービス業】
廃棄物処理業、自動車整備業、
職業紹介・労働者派遣業、
ビルメンテナンス業、
警備業 等

出典：総務省・経済産業省「経済センサス」

北九州市の第3次産業の状況②（従業者数）

【北九州市の第3次産業の従業者数（R3）】



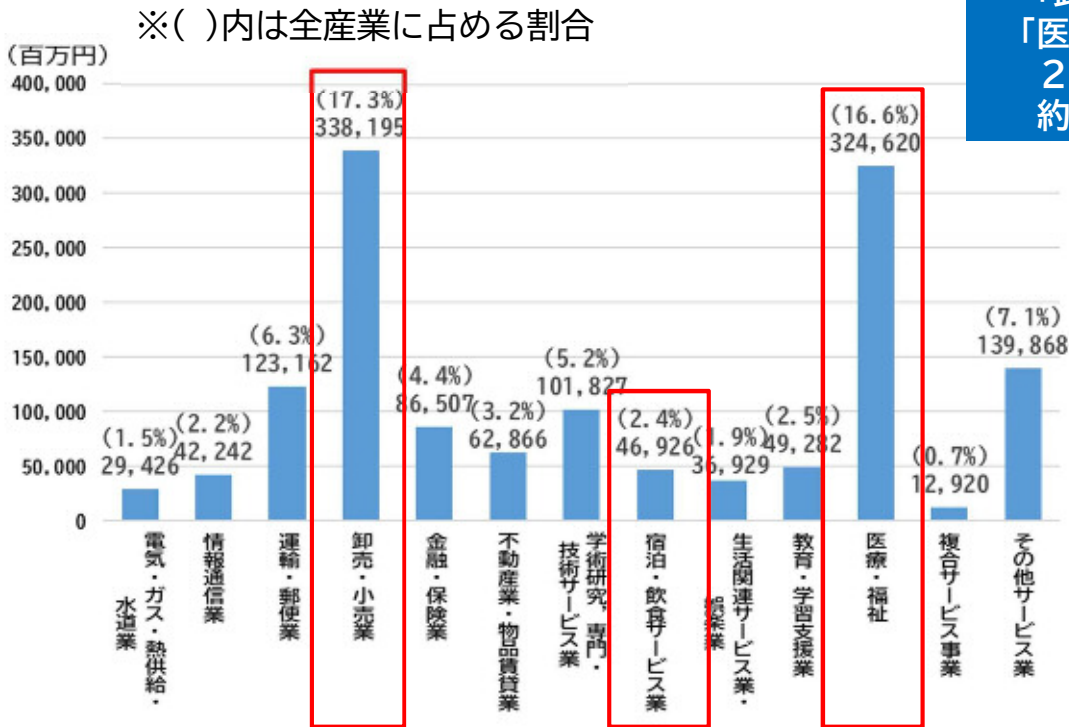
「卸売・小売業」、
「医療・福祉」の上位
2業種で全産業の
約37%を占める

【参考：その他サービス業】
廃棄物処理業、自動車
整備業、
職業紹介・労働者派遣業、
ビルメンテナンス業、
警備業 等

出典：総務省・経済産業省「経済センサス」

北九州市の第3次産業の状況③（付加価値額）

【北九州市の第3次産業の付加価値額（R2）】



「卸売・小売業」、
「医療・福祉」の上位
2業種で全産業の
約34%を占める

【参考：その他サービス業】
廃棄物処理業、自動車整備業、
職業紹介・労働者派遣業、
ビルメンテナンス業、
警備業等

出典：総務省・経済産業省「経済センサス」

※付加価値額 = 売上 - 費用総額 + 給与総額 + 租税公課 4

業種別労働生産性 政令市比較（従業者一人あたりの付加価値額）

【北九州市の業種別労働生産性（R2）】

(単位：万円/人)

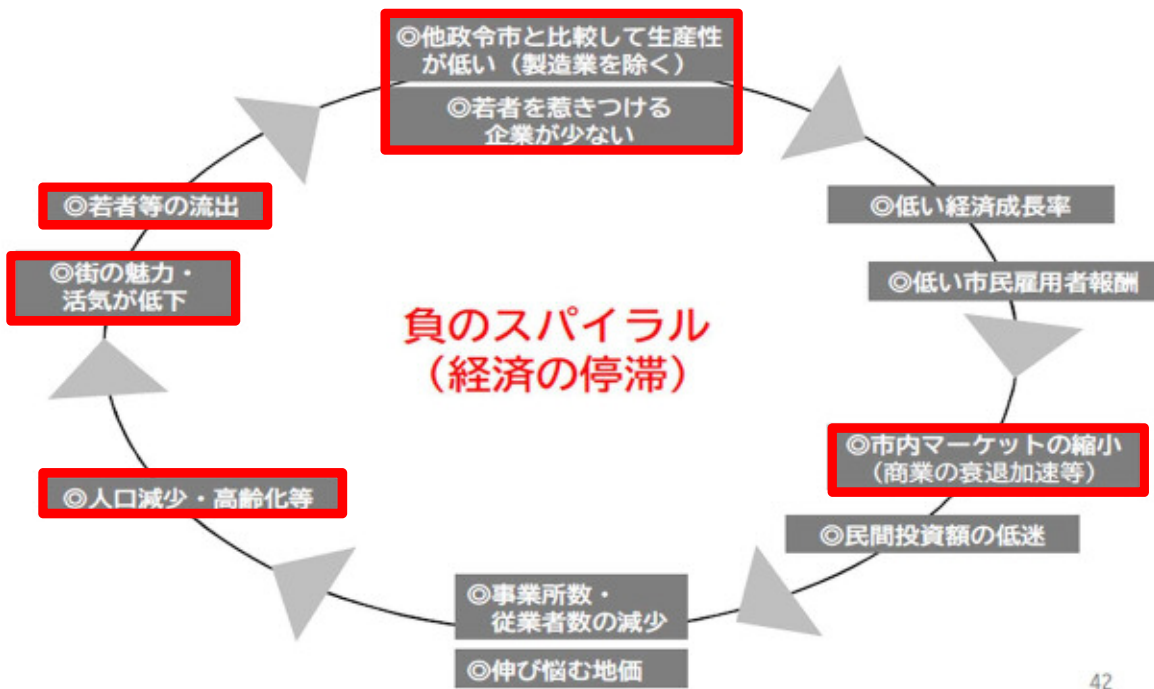
業種	北九州市 (A)	政令市 順位	政令市 平均 (B)	比較増減 (A-B)
電気・ガス・熱供給・水道業	1位	1,949	⑯	1,979 ▲30
金融・保険業	2位	902	⑮	1,105 ▲203
建設業	3位	649	⑮	757 ▲108
鉱業・採石業・砂利採取業	4位	637	⑥	775 ▲138
情報通信業	5位	636	⑱	925 ▲289
製造業	6位	614	⑥	601 12
不動産業・物品賃貸業	7位	551	⑮	775 ▲224
学術研究・専門・技術サービス業	8位	547	⑲	778 ▲231
複合サービス事業	9位	507	⑰	563 ▲57
卸売・小売業	10位	431	⑱	551 ▲120
運輸・郵便業	11位	430	⑨	483 ▲53
医療・福祉	12位	420	⑩	429 ▲9
教育・学習支援業	13位	372	⑧	372 ▲0
その他サービス業	14位	355	⑰	404 ▲49
生活関連サービス業・娯楽業	15位	265	⑥	257 8
農林漁業	16位	166	⑰	270 ▲104
宿泊・飲食サービス業	17位	145	⑰	159 ▲14
計	-	462	⑰	543 ▲81

○事業所数、従業者数、付加価値額で大きな割合を占める、「卸売・小売業」「医療・福祉」「宿泊・飲食サービス業」の労働生産性はいずれも政令市平均より低い

出典：総務省・経済産業省「経済センサス」

※労働生産性：従業者一人あたりの付加価値額

第3次産業振興における課題認識



42

課題認識

- 人口減少・高齢化等により、市内マーケットは縮小傾向
- この状況に対応していくためには、「**労働生産性の向上**」が必要不可欠
- また、「**街の魅力・活気の創出**」、「**若者を惹きつける企業**」も重要

6

労働生産性向上のポイント

- ✓ 人口減少等による担い手、需要の減少の中で、同じ労働投入量で少しでも多くの付加価値をつくりだしていく、労働生産性の向上が不可欠

$$\text{労働生産性} = \frac{\text{付加価値額}}{\text{労働投入量}}$$

※付加価値額 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費

※労働投入量 = 従業員数 + 労働時間

<付加価値額の増加>

- ①顧客・市場の(再)設定による新規顧客層への展開・商圈の拡大
- ②デジタル技術の活用による既存サービスの高度化・新サービスの創出
- ③産学連携、産産連携等による既存サービスの高度化・新サービスの創出
- ④ブランディング等差別化による高付加価値化

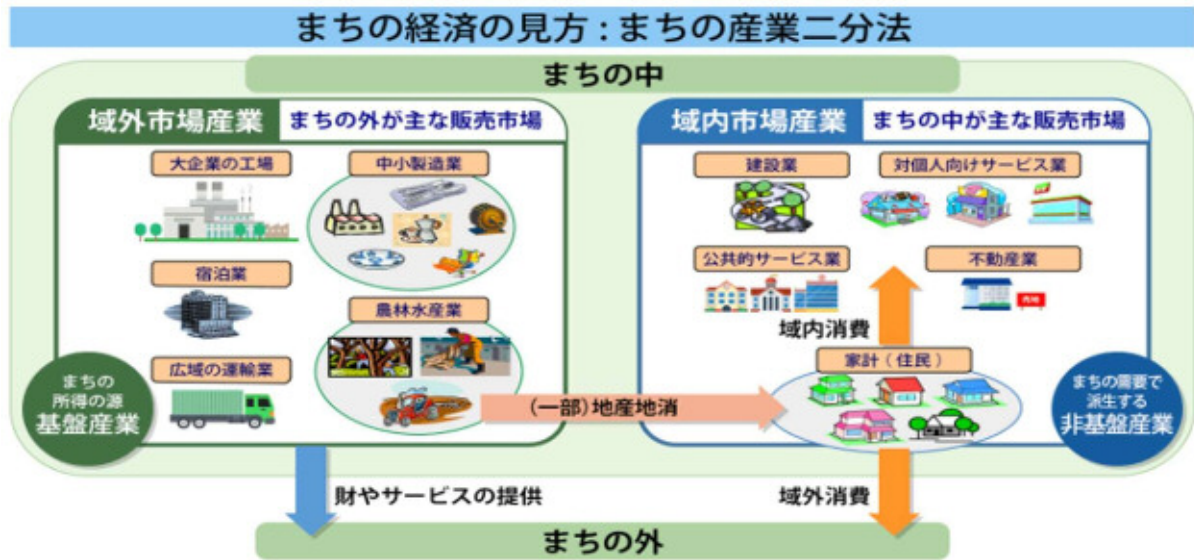
<労働投入量の最適化>

- ①デジタル技術の活用等による業務プロセスの効率化、モノの稼働率の向上
- ②人材確保・育成による事業・業務の最適化

第3次産業振興の方向性①

【第3次産業振興を図る上での考え方】

「域外への販売」と「域内での消費」の2つの視点が考えられる



出典:Data StaRt Webページ「まちづくりのための地域経済分析」中村良平(岡山大学特任教授)

- 産業は域外から所得を稼ぐ「域外市場産業」とまちの需要で成り立つ「域内市場産業」の2つに分けられる。
- 「**域外市場産業**」は、域外から所得を稼ぐことから、重要な産業
- 「**域内市場産業**」は、**人口減少、少子高齢化等の影響を強く受ける**

8

第3次産業振興の方向性②

2つの視点を第3次産業に当てはめると・・・

域外市場産業

- 観光関連産業
- ソフトウェア産業、コンテンツ産業
- 卸売・小売業における通信販売
- 各サービス業における域外での販売

- ・「域外市場産業」は、域外のマーケットから資金が流入するため、「稼げるまち」の実現につながる重要な産業

域内市場産業

- 対個人サービス(金融窓口、学校、理美容、不動産業、医療・介護、小売業)
- 対事業所サービス(保守点検、土業、情報処理サービス、卸売業など)
- 飲食関連サービス業

- ・「域内市場産業」は、
 - ブランディング等差別化による高付加価値化
 - デジタル技術の活用等による業務プロセスの効率化など、「稼ぐ力を高める」ことが重要な視点

9

第3次産業振興の方向性③

【北九州市の第3次産業振興を図る上での3つのアプローチ】

①域外市場からの所得獲得を目指した産業の振興

【具体的な振興策の例】

- ・「①観光・インバウンド・MICEの推進」、「②北九州発の特産品やサービスの域外展開支援」

②域内市場産業の魅力向上、高付加価値化の推進

【具体的な振興策の例】

- ・「③商品・サービスの高付加価値化」、「④事業者の生産性向上・DX支援」、「⑤魅力的な商業・サービスの形成(商店街の再生)」

③若者・女性を惹きつける魅力的な産業の振興

【具体的な振興策の例】

- ・「⑥若者で賑わうサービス産業の誘致」、「⑦IT産業の振興」、「⑧新しいサービス産業の振興(コンテンツ、フェムテックなど)」

第2回未来産業創造会議の議論に係るキーワード

3 第3次産業の活性化に向け、まずはじめに着手すべきこと

【本日まで出席の方】

- ・ インバウンドをターゲット＝高級 (小笠原座長)
- ・ 富裕層取り込みのためのサービスレベル向上 (田中副座長)
- ・ 宿泊施設の誘致 (ビジネスホテルばかり) (青木社長)
- ・ 観光の定義見直し (上田社外取締役)
- ・ 北九州フロリダ構想 (若松にプレミアムシニアタウン (シニアになったら住みたくなる)) (遠藤会長)
- ・ 産業遺産や伝統文化等の保全 (川口社長)
- ・ 観光における北九州のブランドのコアとなる思想を決める (下岡 CEO)
- ・ 観光スポット作りと導線作り、人材確保 (都築理事長)
- ・ 首都圏および海外向けに北九州の魅力をアピール (寺山支店長)
- ・ ブランディング。市のコンセプトを体現する (●●な人材、など※)
人材が集う仕掛け
※要議論。当方案は「仕掛ける人材」。起業家人材でも良いがその場合は「起業家」の定義があると良い。それが何故北九州市なのか？気質、街の奥深さ、飲食等？富山県岩瀬地区は参考になる (永崎社長)
- ・ Park-PFI 等を利用した、地域創生 (林専務)
- ・ 松本零土のアニメキャラを名刺等に使用。ふるさと納税へのアニメ活用
- ・ ふるさと納税にアニメ制作をいれてはどうか (松本 CEO)

【本日まで欠席の方】

- ・ 「北九州市といえば」を1つ作る (郷田代表取締役)
- ・ 徹底的な顧客視点に立った国内外へのストーリー発信
(古長九州 DX センター長)